

議会ひろば

ギ カ イ

2020年(令和2年) 1月25日発行

特集

No. 18
2020 JAN.

●議会改革

市民と歩む 政策提言を目指して



●表紙 12月17日 予防接種(四種混合)

あいにくの雨空にもかかわらず、診察開始の午後1時半を回る頃になると、保健センター1階は、乳幼児とママさんたちでにぎやかになってきました。「チクンなんて、…怖くない♪」接種後は、ママの抱っこやおひざで甘えん坊さんに。涙で目を腫らす子も、お布団の上で気持ちよさそうにゴロゴロしていた赤ちゃんたちもみんな、やっぱり、ママのおひざの上が好き。「あ〜」「う〜」「ばぶ〜」愛情溢れる母子の姿はとても眩しく、ほっこり癒されました。(突ゲキ生レポートより)

●もくじ

巻頭トピックス

三役 新年を語る …… 2

令和2年

全議員の新年の抱負「漢字一文字で」 …… 3

特集

議会改革

「市民と歩む政策提言を目指して」 …… 4~6

●3常任委員会活動報告…総務・社会・産業建設

【令和元年第6回定例会】

・議案審議/賛否の結果 …… 7

・一般質問(ダイジェスト版) …… 8~15

議会の「フォト」広場 …… 16

・飛び出せ議員!「突ゲキ生レポート」

編集後記 …… 16

★すごろくスタート!



1. 藤森博文 ① 決 ② 固い決意、熟慮を重ねた決断、総力で決行!	4. 吉田 浩 ① 吉 ② 本年の抱負は…366日(閏年)を吉日に!	5. 中島秀明 ① 挑 ② オリンピックイヤーは、“これでしょう!”
2. 山崎 仁 ① 挑 ② 今まで以上に もっと積極的に 挑戦していく	3. 田村みどり ① 聴 ② 注意深く身を入れて人からの言葉に耳傾ける	6. 渡辺太郎 ① 進 ② 前進・精進・進化をしていきたい と思います
11. 武井友則 ① 積 ② 積極的に動く、何事も積み重ねを大切に	10. 今井秀実 ① 歩 ② 着実に一歩一歩、前に進んでいく年にしたい	7. 中島保明 ① 健 ② 健康第一!を痛感。心も体も健やかに!!生きる
12. 今井康善 ① 創 ② まち・いのち輝く未来社会をデザインする!	9. 早出すみ子 ① 歩 ② 一歩、前進! 二歩、前進!!	8. 今井義信 ① 新 ② 常に初心を忘れず、新たな夢に果敢に挑戦する
13. 早出一真 ① 真 ② 真面目に真つすぐ真実一路に進進する	16. 笠原征三郎 ① 桜 ② さすが桜、世を変える因になりそうだあ~	【令和2年】新年の抱負 ① 新年の抱負を「漢字一文字」で表現すると? ② その一文字に込めた思いは? ※令和元年12月18日に全議員が発表したものです。
14. 小松 壮 ① 挑 ② 市民の課題に挑戦し多くの人の役に立ちたい	15. 大塚秀樹 ① 歩 ② 千里の道も一歩から、一歩一歩を大切に	17. 遠藤真弓 ① 努 ② 努める。課題解決の為に力を尽くします
18. 浜 幸平 ① 和 ② 平和で誰もが穏やかな一年であります様に!	18. 田村みどり ① 和 ② 市民の課題に挑戦し多くの人の役に立ちたい	ゴール!

巻頭トピックス「三役新年を語る」



■議長 渡辺太郎
「三役新年を語る」ということで、岡谷市議会の三役がどんな考えをお持ちなのか、また、今号の特集である「議会改革」についても聞きしたいと思います。

■司会 田村みどり
まずは、各役職における仕事の内容、苦勞面や充実感は?

■渡辺議長 議長は、市政における二元代表制の一翼を担い、市民の負託に応え、時代に即した機能の発揮が求められます。責任の重さに緊張と充実を感じながら、議長職では、市議会を代表して市内各種団体の会合等への出席、全国、県の市議会議長会等への出席などの公務があります。

■藤森副議長 議会運営全般の議長補佐と問題提起、課題抽出の他に議会広報広聴委員長として広報広聴を充実させる役目があります。議会活性化のためにやるべきことの見極めや副議長として中立・公平な言動を自問自答し苦慮する日々です。

■司会 正副議長さんは、ともに議会を動かす大変な役職ですね。

■中島監査委員 岡谷市監査等年間計画に基づく、例月出納検査、決算審査、



■副議長 藤森博文
法令への適合性のチェックを、意見、要望なども述べながら行い、大変やりがいがあります。

また、監査委員は、立場上知り得たことは一般質問でできません。

■司会 一般質問については、正副議長は行わないとされており、監査委員は関与した事項については行わないというところが、岡谷市議会先例で定められていますね。

日頃のストレス解消など、余暇はどのように過ごされていますか?

■渡辺議長 読書が大好きで、時間を作っては読書を読みます。音楽を聴くのも好きです。幅広いですがジャズが多いですね。最近はアルトサックスで音も出しています。映画学校出身なので映画鑑賞は、欠かせません。愛犬と散歩、釣りが好きですね。

■藤森副議長 家族とのコミュニケーションや、地域の仲間との時間を大切にしています。普段は殆ど飲まない酒を、たまに仲間と昼間から飲むのは楽しいですね。今は時間がとれませんが、20年前から始めた陶芸が楽しみです。

■中島監査委員 冬は、雪原に行き、美術館で絵画や彫刻を観て、ログハウスの調の喫茶店の新ストーブにあたり、本を広げたまま眠る。春は、山菜採りと溪流釣り。夏は、3km級の登山。以上、今では願望です。現在は、いつでもどこでも楽しめる「ウクレレ」が一番のストレス解消になっています。



■監査委員 中島保明
したいですか?

■渡辺議長 高齢者数がピークを迎える2040年問題を見据えながら、目の前の事を着実に一歩一歩全力で取り組んでいきたいと思っています。市民のため持続可能なまちづくりを議会の立場で推進していきます。

■藤森副議長 議員は様々な意見を持つているが、議会は一つであることとを再確認したい。議員が相互研鑽し、討論を活発化させ、市民の意見をもとに、政策立案・提言につなげることに、市議会だよりを充実、深化させること。

■中島監査委員 監査委員としていつそう頑張ることは当然ですが、まずは、体を大切にしたいと思っています。あと、お恥かしいですが、一人の生活に疲れてきました。伴侶という存在を得て、家庭を作りたいですね。

■司会 最後ですが、「議会改革」に対する考えをお聞かせください。

■渡辺議長 高年齢者数が増える2040年問題を見据えながら、目の前の事を着実に一歩一歩全力で取り組んでいきたいと思っています。市民のため持続可能なまちづくりを議会の立場で推進していきます。

■藤森副議長 議員は様々な意見を持つているが、議会は一つであることとを再確認したい。議員が相互研鑽し、討論を活発化させ、市民の意見をもとに、政策立案・提言につなげることに、市議会だよりを充実、深化させること。

■中島監査委員 監査委員としていつそう頑張ることは当然ですが、まずは、体を大切にしたいと思っています。あと、お恥かしいですが、一人の生活に疲れてきました。伴侶という存在を得て、家庭を作りたいですね。



■議長室のダルマ目入れ
正副議長室のダルマ目入れ

■渡辺議長 議会改革は二元代表制の追求とも言われます。喫緊の重要なテーマは議会のICT化の推進だと感じています。また、忘れてはならないのが政策立案機能の強化や議員の資質向上です。それぞれが持ち味を更に発揮できる議会になっていければと思います。

■藤森副議長 原点は、岡谷市議会基本条例にあり、市民起点で市政課題の抽出と議会の課題抽出、議会改革推進のロードマップを市民に公開して取り組むべきだと考えています。

■中島監査委員 二元代表制の中で、その改革が、行政のチェックという議会の機能の強化になるのか。市民の役に立つものなのか。この二つを常に考えていく必要があります。

■渡辺議長 令和元年から、3常任委員会の活性化を目指して、政策提案・提言に向けたテーマを選定しました。調査・研究、政策討論会を経て令和2年度中には市長へ提言書を提出しよう、と目下取り組んでいます。期待して頂きたいと思っています。

■司会 三役におかれましては、議員の先頭に立って益々頑張ってください。本日はありがとうございました。(了)

総務委員会活動報告

【委員長】 今井 康善
【副委員長】 田村みどり
【委員】 渡辺 太郎・武井 友則
早出 一真・笠原征三郎

◆活動テーマ

「公共施設のあり方について」

人口減少時代、将来に向けた持続可能な施設のサービス、運営、配置等のあり方を調査・研究し、現地視察等、所管する部局の正確な実態把握に取り組んでいます。

■9月3日…小中学校現地視察

湊小学校、北部中学校、岡谷田中小学校の現地視察を行い、学校概要、校内視察と共に教育環境等の現状について説明を受けました。学校ごとのランドデザインを基に特徴のある教育目標や指導方針、地域・保護者との関わり方等の理解を深め、子ども達の学ぶ環境の実態把握の機会になりました。



現地視察（湊小学校の教室）

■9月5日

岡谷市PTA連合会との懇談会

市内各小中学校から22名参加いただき、幾つかの項目ごとに意見交換を行いました。特に部活に関する事、通学の安全対策、トイレの洋式化など施設の改善、いじめ・不登校に関する事、英語教育の充実や授業のICT化への関心が高く活発な意見、要望が出されました。この内容を教育委員会へ伝え、回答を後日フィードバックしました。中には早速改善につながる事柄もあり有意義な懇談となりました。出された意見を基に、今後も安心して学べる環境づくりのために委員会として取り組んでまいります。



PTA連合会との懇談会

■9月6日…消防団幹部との懇談会

消防団幹部13名と消防署職員3名にも同席いただき意見交換を行いました。屯所の駐車場、女性団員のための環境整備、施設の不具合、団員不足、独身団員の婚活、ポンプ操法大会、



消防団幹部との懇談会

その他の活動

■8月26日

社会・総務委員会合同現地視察

長野県諏訪児童相談所所長との懇談・諏訪養護学校小学部、中学部、高等部の授業参観、校長先生、教頭先生との懇談

■11月13日～15日…行政視察

諏訪養護学校高等部ふじみの森分教室授業参観、教職員との懇談
委員会の活動テーマに沿って、豊田市「あそべるとよたプロジェクト」(市街地の公共空間を楽しく使う)、半田

市「総合型地域スポーツクラブ」、高浜市「公共施設マネジメント」、安城市「中心市街地拠点整備事業」の4ヶ所について、公共施設のマネジメント、施設集約や運営方法、公共空間の有効活用などの視点から視察を行いました。それぞれ、まちの環境は違いますが、財政的に健全な自治体ほど徹底した取り組みが行われていることがうかがわれました。今後、市関係部局への報告会を開催し情報の共有と参考とすべき点を提言してまいります。



豊田市複合文化施設「豊田参合館」前にて

社会委員会活動報告

【委員長】 小松 壮
【副委員長】 浜 幸平
【委員】 藤森 博文・吉田 浩
早出すみ子・大塚秀樹

◆活動テーマ 「高齢者の運転免許証 自主返納の促進と 対策について」

高齢ドライバーの誤操作などに起因する交通事故が相次ぐ中で、運転免許証の自主返納に対して関心が高まっていることから、自主返納の促進や運転免許証返納後の移動手段の確保などに関わる調査・研究に取り組んでいます。

令和元年度の主な活動

■7月5日

富岡市との議員交流研修会

富岡市議会社会常任委員会との意見交換のなかで、高齢ドライバーの運転免許証自主返納を積極的に促す取り組みや、返納者に対する移動手段の確保対策などの取り組みについて、状況や課題を伺いました。同市では「運転経歴証明書」交付手数料補助をはじめ、タクシー券の交付や私鉄運賃の割引などを行っているとの事でした。



富岡市議のみなさんと意見交換

■8月22日…3団体懇談会

連合壮年会、連合婦人会、高齢者クラブの皆さんから、自主返納に対する考え方をはじめ、シルキーバスや福祉タクシーの利用についてお話を伺いました。自主返納の必要性は理解できると返納すると移動手段がなくなってしまう。公共交通の充実や、歩いて暮らせるまちづくりなどに取り組んで欲しいとの意見が多数出ました。

率直な意見で盛り上がり、
時間を延長して 意見交換



■11月13日～15日…行政視察 福井県警 『ドライブレコーダーを 活用した交通安全指導』

原則70歳以上の方で、運転を見直したい方や家族が希望する方を対象として、自家用車に県警が貸し出すドライブレコーダーを1週間程度設置。記録された運転映像を、警察の担当者が確認し、映像を見ながら運転診断と個別指導を行う。

福井県は、高齢者人口1万人当たりの交通事故死亡者数が都道府県別でワースト1位であり、汚名返上を目指し始まった取り組み。

生活道路での運転映像を使用し、良い点・悪い点を織り交ぜながら個別診断指導を行うことにより、受講者の約8割の方が「自らの運転特性を認識することができた」と評価しており、自主返納のきっかけにもなっているとのことでした。

NPO法人 気張る！ふるさと丹後町

『やまなひ交通の 運行について』

住民ボランティアが運転手となり、マイカーを使って地域住民や観光客等運ぶ公共交通。スマートフォンで「Uber(ウーバー)」のアプリを使用する、先進的なシステムが取り入れられており、「公共交通空白地有償運送」

としては日本初の試み。

スマートフォンのアプリを使用するため、電話受付などの人的負担がゼロであること、利用者は出掛けたい時に即配車・乗車できること、ドライバーも自分の余暇に合わせて対応できること、マイカーを使用するため維持管理費が生じないこと、行政負担無く独立採算で運行できるなどのメリットがあるとのことでした。



運転診断・
個別指導の様子
(福井県警)



スマホから配車を依頼し、試乗しました。
(京丹後市)

■総括 委員長 小松 壮

「二つでも多くの視察先での勉強や、一人でも多くの皆様との出会いを大切に」との思いで、委員会に所管する部門の課題について全国的先進地への視察を行い、行政に先進地事例として報告をしてまいります。

また地域の関係施設への視察、市内各種団体の皆様との懇談会を通じて、世の中の動向や現状を的確に捉え、より良い岡谷市づくりに少しでも貢献できるよう頑張っております。

令和元年
第6回定例会(12月)
議場の再現
(ダイジェスト版)

スバリ!
市政を問う!

一般質問



※岡谷市ホームページから、一般質問の詳細や録画映像の動画を見ることができます。パソコン、スマートフォンからいつでもご覧いただけます。



●一般質問とは…
議員が、市政全般にわたり、執行機関である市に対して、事務の執行状況及び将来への方針などについて考えや意見を聞き、報告、説明を求めるなど、質問をすることです。年4回の定例会において行われ、議員活動の根幹をなすものといえます。

目次

掲載は質問順です。

※掲載内容は質問者の文責によるものです。

●一般質問の順位は、定例会招集日の開会前(3月定例会を除く)に、くじで決めます。

1. 小松 壮……8ページ
2. 吉田 浩……9ページ
3. 大塚 秀樹……9ページ
4. 笠原征三郎…10ページ
5. 遠藤 真弓……10ページ
6. 武井 友則……11ページ
7. 山崎 仁……11ページ
8. 今井 秀実……12ページ
9. 中島 秀明……12ページ
10. 今井 義信……13ページ
11. 早出 一真……13ページ
12. 浜 幸平……14ページ
13. 田村みどり…14ページ
14. 早出すみ子…15ページ
15. 今井 康善……15ページ

Q 小学校のいじめ
不登校の現状について
A いじめは軽度もふくめ増加
傾向、不登校は若干減少



小松 壮

Q 児童にいじめへの認知をどう持たせ、どう教育しているのか?
A 「岡谷市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、道徳教育や、人権教

育、なかよし旬間などに取り組み、いじめや差別のない学級・学校づくりを進めている。また、さいなけんかやふざけ合いであつても、相手が嫌だと思えばいじめになることなど指導している。
★要望：いじめ撲滅に全力で取り組んでいただきたい。

スポーツ振興について

Q 第2次岡谷市スポーツ推進計画の進捗状況について?

A 市民の意見を広く取り入れた計画とするため、スポーツ関係団体、学校関係者、医療・健康等学識経験者、障害者関係団体、教育関係団体、行政関

係の代表者が委員となる「岡谷市スポーツ推進計画策定委員会」を設置し作成を進めている。

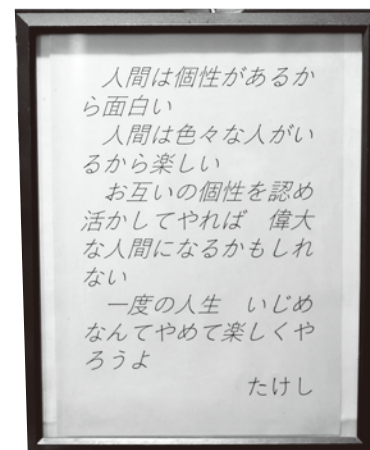
Q 現行の推進計画と次期推進計画の違いは?

A 現在、国及び県の上位計画は、それぞれの取り組みの中に「する」「みる」「とらえる」スポーツを明確に記載しているため本市においても同様とし、市民一人ひとりのスポーツに取り組み形を大切にし、策定していきたい。

高齢者の交通事故抑制について

Q 後付け自動車安全装置の設置や安全装置搭載車購入費の一部を補助する考えは?

A 国、県の動向を注視しながら、県の施策に沿った対応を講じてまいりたい。



Q 防災・減災対策について
A 市民の意識は高まっている



吉田 浩

Q 台風19号の県内への接近前後に市民から問合せや要望はあったか?どのような内容か?
A 早い段階から注意喚起を行なったことから、電話での問合せが数件あった。自主避難の申し出や、停電復

Q 避難行動要支援者及び支援者から問合せや要望はあったか?

A 特段、伺っていないが、今回の災害により避難に不安を感じた方もいると感じ、関係課と連携し登録制度の周知、PRに努める。

食育推進計画について

Q 学校給食における地産地消の取組の有無と、仕入先の農家の選定に無農薬栽培等の基準を設けているか?

A 学校給食では、地産地消の一環として、市内の生産者から学校が直接仕入れを行なう事もある。味噌や醤油についても市内生産品を使うように努めている。

仕入先の農家を選ぶ基準は特にないが、仕入れる農産物は、J Aの基準に従い生産されており安全・安心な食材であると考えている。

Q 共食の推進についての取組は?



学校給食の例(川岸小学校)

A 乳幼児健診や保育園、学校での周知のほか、生きがいデイサービスや出前講座に栄養士が出向き、家族や身近な人と楽しく食べることの重要性について、広く周知・啓発している。

Q 新年度予算編成の基本的な考えは

A 目標達成へ各種施策を展開



大塚 秀樹

Q 重要施策及び特色にある事業は?

A 未来の担い手育成、地域の元氣創造暮らし満足度向上の3項目を重点施策として、各種事業を展開する。子育て支援の充実、確かな学力の

定着、豊かな心と健やかな体の育成を図る。結婚に対する支援として、住居費、引越費用や、対象となる夫婦の世帯所得、年齢を拡大し、市内への移住、定住を促進する。母親支援では「妊婦一般健康診査事業」「産婦健康診査事業」「産後ケア事業」など包括的に取り組む。

岡谷市の知名度を向上するためにシテイプロモーションに取り組み、交流人口増を目指し、企業の人材確保、女性雇用促進、シルクPRにも力を注ぐ。回遊性のある商業地の形成と子供達の安全確保のための道路整備、令和2年から4年までの水道料金の据え置きをする。

高齢者に対する支援について

Q 高齢者の増加による問題は?

A 社会との関わりが希薄になり、生きがいを感じる機会が減り、認知症の進行や生活意欲の低下につながる可能性もあることから、孤立させない取り組みが必要となる。今後も住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、生きがいづくりや仲間づくりをし、地域の方々と連携しながら社会参画に取り組む。

Q 高齢者を支援する事業の概要は?

A 介護保険制度のサービスでは、訪問介護サービスの生活援助サービス



おかやの旧道(湊)

Q 小・中学校の英語教育の体制は万全か

A 体制は整えられている



笠原征三郎

Q 小学校の英語教科の意義と背景は？

A 意義としては、英語を使つてのコミュニケーションを図る資質・能力を育てること。背景は、グローバル化が

進む中、様々な場面で英語が今後必要とされてくることにある。

Q 英語指導のための学級担任などの体制は確立されているか？

A 英語支援アドバイザーやALT（外国語指導助手）、英語専門の専科教諭といった人材活用で取り組む。

Q 中学校での授業形態の変化によって、授業から取り残される生徒が生じる恐れはないか？

A ペア学習・グループ学習を取り入れ、主体的な授業を行なう事で、取り残される生徒が出ない様に取り組んでいく。

教員の働き方改革について

Q 教員の一か月の残業時間は？

A 本市の現状は、62時間27分（長野県は57時間37分）で県より4時間50分多い。

Q 「二年単位の変形労働時間制」の導入をどの様に受け止めるか？

A 今、国会で審議されているが、教員の勤務条件は県条例で定める事なので、県の動向に対応していくものと考えている。



★強く要望：岡谷市においては、新制度を導入させないとの意思をぜひ掲げてもらいたい。

選挙の投票率向上の施策

Q レイクウォーク岡谷での開設日数を増やしたらどうか？

A 有権者ニーズの把握と店舗と十分打合せし、決定していきたい。

Q 小井川区・東堀区に期日前投票所を設けることが必要では？

A 新たに設置することは考えていない。

Q 女性の就業環境整備は？

A 制度改革の為に助成0件



遠藤 真弓

Q 女性雇用促進就業環境整備事業の就業規則等の変更や労務管理、制度改革のための助成は、それによるどのような変化を想定しているのか？

A 短時間勤務制度や休暇制度の創設、ハラスメント防止や職場風土向

Q 制度の詳細説明はおこなっているのか？

A 社長、総務、現場担当等に対して、丁寧な説明を行い、周知に努めているところ。

★要望：設備の費用助成とともに、チラシに具体例を掲載するなど、制度改革のための助成に1件でも多くつけて頂きたい。

森林整備について

Q 市内すべての森林路網の状況の概要と路網密度は？



県道下諏訪辰野線から見た森林風景

Q 森林作業道の考え方は？

A 森林経営計画を所有者が作成し計画的に造林・間伐をおこなう。森林作業

引きこもり支援について

Q 岡谷市の引きこもり状況・対応は？

A 県の調査では、県内2,290人、男性7割、中高年層が全体の63%、本市は42名。まいさば岡谷市を設置して、自立に向けた支援に努めている。

Q 引きこもりサポーター養成研修・派遣事業の実施の予定は？

A 現段階で、実施は考えていない。

Q 市内遊休荒廃農地の状況は？

A 約8ヘクタール増加



武井 友則

Q 遊休荒廃農地の現状は？

A 平成30年度は、前年度と比べ約8ha増加した。今年度は、9月から11月にかけて市内全域にわたりタブレックを活用し農地利用状況調査を実施

し、調査結果は取りまとめ中である。

Q 遊休荒廃農地の解消へ向けた取り組みは？

A 貸し借り相談会の開催を通じてマッチングを行っている。また、農業委員会では獣害に遭いにくいといわれるエゴマの試験栽培を行い、遊休農地の解消に繋がる研究をしている。

Q 稼げる農業へ向けた6次産業化については？

A 引き続き研究していく。
★要望：温暖化により耕作可能な生産物に変化していることを受けて、6次産業化へ繋がるような農産物の研究を。

Q 県外での農産物販売への支援は？

A 現在はないが、姉妹都市などとの交流の中で販売量が増えることを期待している。

★要望：活発になるよう支援を。
マイキー I D 設定支援

Q マイナンバーカードを活用した消費活性化策を利用するには、マイキー I D 設定が必要。手助けが必要な方への対応は？

A 自宅で設定する環境を整えるにはお金もかかる。窓口での設定が多くなると予想できるので個別対応、設定用の端末の用意など含めて準備を進める。

Q 自治体ポイントを活用した地域特産品の販売は？

A 岡谷産特産物を広く知ってもらうにはふるさと納税、イベントを活用した周知で対応しているため今のところは研究段階。



今年から再利用されている山際の畑

相談、助言を行う。

Q 参加出来ない方への対応は？

A 家庭訪問や保健センターでの個別面接を行い、直接会えない方には電話で説明し郵送している。

Q 聞こえない！災害時の住民への情報伝達は？

A 防災ラジオ・メールで対応



山崎 仁

Q 大雨の時や閉めきった部屋では、防災行政無線や広報車による広報の放送が聞き取れないが、その対策をどのように考えているか？

A 室内でも有効な防災ラジオや携



岡谷市防災ラジオ

Q 横河川の氾濫で被害が想定される場所は？

A 小井川区民会館など6施設



今井 秀実

防災対策の充実について

Q 横河川の氾濫・洪水で、何軒に影響が及ぶ見込みか？

A 数十軒と見込んでいる。

Q 諏訪湖創生ビジョンへの関わりと取組は？

A テーマごとに連携して推進



中島 秀明

Q 諏訪湖周観光の活性化や関連する産業の創出に向けた取組は？

A 諏訪湖創生ビジョンは、県、市町村、地域住民、企業等が協働で20年後の諏訪湖のあるべき姿を目指して諏

Q 1000年に1度という見方で見ると、避難施設のうち、横河川の氾濫・洪水で被害が想定される場所はどこか？

A 小井川区民会館、西堀区公会所、西堀保育園、岡谷東部中学校、勤労会館、市民総合体育館の6施設となる。

Q 天竜川の氾濫・洪水で、何軒に影響が及ぶ見込みか？

A 100軒以上と見込んでいる。

Q 1000年に1度という見方で見ると、避難施設のうち、天竜川の氾濫・洪水で被害が想定される場所はどこか？

A 下浜区民センター、橋原区公会

訪湖創生ビジョン推進会議でテーマごとに取組んでいる。岡谷市も民間団体と共に参画しており、テーマや取組ごとに市の各部署が民間と連携して進めている。

Q 諏訪湖周観光に向け地域住民や民間企業との連携や情報発信は？

A 諏訪地方観光連盟が中心となつて5年後の宿泊客数15.2万人を目指してサイクルツーリズムの推進、温泉や文化施設と連携したサイクリング環境の整備に取組んでおり、岡谷市も湖周の各施設と連携して、まゆ工作、織物体験、味噌作り等の体験型観光ツーリズムの導入により交流人口や関係人口の増加に取組んでいく。情

Q 企業連携のための、工業振興課での支援対応は？

A テクノプラザおかやを受発注の拠点と位置づけ、ネットワークを持っている企業などを適正に選定し相談体制の確立。

Q 岡谷市内の景気・雇用動向は？

A 業況は低調傾向にあり、世界経済の先行きが不透明な状況に対する警戒感が強い。

縄文文化日本遺産認定について

Q 甲信縄文文化発信・活性化協議会の活動状況は？

A シンポジウムの開催、ツアーの実

Q 行財政改革と財政健全化への道筋は？

A 限られた財源の効率的かつ効果的な配分



早出 一真

Q 岡谷市行財政改革3か年集中プランの成果は？

A 職員定数については、質・量ともに増加している業務や、市民ニーズの

所、成田保育園、新倉区公会所の一部、川岸公民館の一部の5施設となる。

Q 平常時から、地域住民とともに、災害の種類や状況に応じた適切な避難施設等をあらかじめ想定しておくことは、生死を分けるほど重要である。どう捉えているか？

A 災害の種類や状況に応じて避難経路や避難施設などを複数想定しておくことは大切である。防災マップにより避難施設等が危険区域内にあるかを示して周知している。

国民健康保険税について

Q 国保税のこれ以上の引き上げを



湖畔広場 人口なぎさ

報発信については、岡谷市観光協会のフェイスブックで諏訪湖に関わる情報やイベントの情報発信をすると共にインスタグラムの活用により諏訪湖の魅力発信を行っていく。

施、ガイドブックの作成など。

Q 事業を推進しての課題は？

A 民間との連携や活用、人材の育成、財源の確保など。

Q 課題解消に向けて、どのような取り組みをするのか？

A 市町村ごとの事業でなく、諏訪6市町村で連携した取り組みなどを推進する。

水道事業の現状等について

Q 水道施設を取替く現状と今後の整備については？

A 施設の老朽化が進んでいること、

A 行財政改革3か年集中プラン期間中(3年間)に数値は毎年0.01ポイント改善され、0.66となった。要因として、景気回復による市税収入の増収が続いたことによる。基準財政需要額が増となったことが、数値改善の要因である。今後の市税収入は人口減少が続く状況により、税制改正等の影響がない限り増収となる見込みは難しいと考えられる。

交通安全対策について

Q 横断歩道を設置する際の条件について？

A 県の公安委員会において、交通量、道路形状、緊急性、必要性などを総

回避するため、岡谷市として、一般会計からの法定外繰り入れを実施すべきと考えるが、見解は？

A 国保会計は、独立採算制が原則である。一般会計からの法定外繰り入れは考えていない。



「岡谷市防災ガイド」(平成21年改定)本年度中に新改定版を全戸配布予定

日本アルプスサイクリングロード

Q 日本アルプスサイクリングロードへの関わりと観光への取組は？

A 本プロジェクトへの案内が県からきた段階で参加に向けては現在調整中であるが、日本アルプスサイクリングロードの先行区間として諏訪湖周サイクリングロードを進めている。県が推進する自転車活用による観光地域づくりには、岡谷市の地域資源である食や文化施設、自然景観との連携も図れることから市としても地域を活性化する手立てとして重要な取組であると認識している。

Q 技術職員について、現状の職員数で業務に支障がないのか？

A 人材確保、業務軽減、技術継承が課題であるが、業務軽減やあらゆる工夫により業務に支障がないようにする。

Q 広域連携への考え方は？

A 多くの協議事項があり現段階では難しいが、広域化は検討すべきものである。業務の可能な部分から検討を進める。



顔面把手付深鉢型土器 (出土遺跡:海戸遺跡国指定重要文化財)



グリーンベルトや路面標示の設置

合的に判断して設置している。地元からの要望箇所ので設置が難しい場所については、交差点のカラー舗装などの路面標示や、道路標識の設置により対応している。

Q 移住・定住の促進による地域活性化の推進は？

A 積極的に取り組んでゆく



浜 幸平

Q 移住・交流人口の増加によるまちの活性化の効果は？

A 産業集積による働く場の確保・子育て支援・大型商業施設や映画館・市民病院を核とした地域医療体制の充

実に努め、暮らしやすさを市内外へ効果的に発信してゆく。

Q 諏訪圏移住交流推進事業連絡会の活動状況と成果は？

A 平成25年6市町村等で構成される。平成28年度から3年間で868件の相談があり、26名が諏訪地域に移住され、内3名が本市に移住された。今後も推進していく。

Q 組織・予算を一本化することで事業集中と予算の効率化が図れるのでは？

A 既存の組織において適正に実施できていると認識している。今後については、施策展開に応じて検討していきたい。

Q 「地域経済システム」(RESAS)の利用方針・状況については？

A 地域課題の解決に有効。産業振興を進める中で、参考になる傾向分析と考える。

今後とも必要に応じて有効に活用していきたい。生産・所得分配・消費・支出の3分野からの連携による地域経済循環図などを

含め、先進事例など引き続き研究し



ていきたい。

Q ワークション自治体協議会への対応と展開は？

A 本年11月に発足して、これまでに全国67自治体に参加し本市も参加表明した。協議会を通じて情報収集に努め、今後民間事業者とも連携して地域活性化や交流人口の拡大、ワークションの普及に努めてゆきたい。

Q RESASにおけるFrom-To分析(滞在人口)の活用については？

A どこから・いつ・どこへの移動状況を把握することは、本市への観光客の動向把握に参考になる。交流・滞在人口の分析や促進の参考としたい。

Q ホストタウンプログラム推進事業の目的は？

A 多文化共生社会実現の推進



田村みどり

Q ホストタウンプログラム推進事業の概要は？

A カナダを相手国とするホストタウンとして、カナダ関係者や日本人オリンピアン・パハリピアンとの交流を通

じて、スポーツの振興、教育文化の向上のほか、多様性を学び共生社会の実現を図る取り組みをするものである。

Q 来年度に向けての事業展開は？

A オリンピック・パラリンピック、どちらも東京や競技会場になっている特定の地域だけの盛り上がりで終わらせることなく、岡谷市としても地域が一体となって、子供たちの記憶に鮮明に残るような取り組みをする。

Q 第5次岡谷市総合計画の基本目標「ともに支えあい、健やかに暮らせるまち」の施策に位置づけられる結婚に対する支援の取り組み内容とは？

Q 婚活バスツアーを含めた事業は、今後も継続する取り組みか？

A 今後も、各種婚活イベントの参加者からの意見に耳を傾けながら、出会いの場の創出や結婚に対する支援の充実に取り組んでいく。



Q 店がない不便！？

A 移動販売車導入なし



早出すみ子

Q 買い物弱者への支援は？

A 訪問介護サービスで買い物代行。障がい者支援サービスでは外出をヘルパーが行う。小売業を中心に移動販売、宅配、配食などのサービスが提供

される。中小企業、商業者の出店への支援も行う。

Q 買い物弱者問題の影響は？

A 高齢者の外出頻度低下による生きがい喪失、商店街への距離が遠くなることによる転倒、事故のリスク増大、食品多様性低下による低栄養化や医療費、介護費の増加の可能性など。

Q 市内の移動販売車の実状は？

A 地元スーパーマーケットと事業者が連携し、湊川岸、長地地区の一部で移動販売、生活組合なども食材の宅配を行う。

Q 市として移動販売車の導入は？

Q 公共交通の利便性高め利用者減少に歯止めを

A 外部機関の協力で再構築



今井 康善

Q 超高齢社会における交通弱者への対応と利用者重視の視点は？

A シルキーバスでは、主な移動目的の岡谷市民病院へ全線乗り入れ、市内商業施設へのアクセス向上に繋がる

ダイヤ改正。利用者の乗降調査などによる随時運行改善に努めている。

Q 地域交通に求められる役割は？

A 市民の足の確保、公共施設の利用促進、中心市街地の活性化、公共交通空白地域の解消が目的。重要性と必要性は認められているが、利用者は減少傾向にある。

「乗って残そう公共交通」を。

Q 福祉タクシーの補助券方式化は？

A 県下19市で半数以上補助券方式、利用回数や限度額の制限などを必要としている。現行方式を継続している。

Q 法改正で再構築に向けた地域公共交通網形成計画の取り組みは？

A 県内で40.2%が策定中。他自治体を参考に必要性を研究していく。

★要望：利用者減少理由の正確な把握と潜在的な需要の拡大に向け専門家等の助言を活かした再構築を。

Q 地域と公共交通をつなぐ「モビリティ・マネジメント」については？

A 出前講座シルキーバス乗車体験などによる公共交通を考える場の提供。市では年間を通じてノーマイカー通勤デーを設けている。



公共交通利用促進キャラクターのりたろう

Q 女性の就労機会を増やす対策としての市の取り組みは？

A 「女性の就職応援セミナー」の開催のほか、女性限定の就職説明会、県と連携しての女性就業相談窓口の設置などを行っている。

Q 女性の働きやすい環境整備を促す支援策を講じているのか？

A 今年度新規事業として、女性の就業促進や職場への定着化を図ることを目的とした「女性雇用促進就業環境整備支援補助事業」を実施するとともに、今後も、女性の就業促進、働きやすい環境整備の推進に向け各種施策を講じる。

Q 支援体制は？

A 子ども総合相談センターがフレンドリー教室、中間教室を利用し専門カウンセラーが関わり学校と連携しながらチームで支援している。

Q PTA連合会からの要望と見解は？

A 「子どもも親もケアできる場所があれば」「相談できるところは」「学校の担任及び校長、教頭など様々な先生方に相談できる。子ども総合相談センターでもいい。

★要望：不登校は子どもの意思である。学校以外にも学ぶ場はある。自立した子どもを育てるために何が必要か、今、何ができるか相談窓口の体制強化と学校以外の学びの場の拡大及び確保を。

Q 公共交通推進の組織体制は？

★要望：運転免許返納者への「返納支援プログラム」や、健康推進に向けた公共交通の利用促進を。

Q ギフテッド教育について

A 日本では定義がない。子ども達一人一人の人權や人格、個性を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進している。魅力と活力ある学校づくりの取り組みは「ギフテッド教育岡谷版」といえる。輝く子どもの育成に全力で努めていく。

【12月17日:予防接種】

市保健センターにて四種混合の予防接種が行われました。子育てママさんたちから、ご意見を頂きました。

- ①岡谷市の子育て環境はどう?
- ②議員のイメージは?
- ③子育ての不安は何?



- ①こどものくになが楽しい。
- ②よくわからない。
- ③医療費が他県(愛知県)では窓口支払いもなく良かった。そうなればよい。
・宮沢葵さん・小林亜美さん



- ①こどものくになが良い。
水遊びする所が欲しい
- ②?
- ③希望するところ
(保育園)に入りたい。
・山崎和香さん

- ①岡谷市の子育てサービスには満足。
- ②何をやっている人がわからない。
- ③将来、就職を考えているが、その時、家事、育児と仕事の両立ができるかどうか不安になっている。
・米窪由紀さん



- ①子育て施設は充実しているが、授乳できる場所(トイレ含め)が少ない。親子で出掛けられるところをもっと多くして欲しい。
- ②よくわからない感じだけど、女性議員を増やして欲しい。
- ③初めての子なので何が不安かもよくわからない。それが不安。
・柴彩美さん



- ①16時過ぎは保育料100円/30分が必要。予防接種時間が全体的に長い。未満児保育に中途で入れなかった。
- ②お金持ち。頭が良さそう。
・小松夏美さん
- ③家事・育児と仕事の両立



- ①授乳室が少ない。こどものくにながあっている。
- ②気さくな感じ。
- ③イヤイヤ期が始まること。(2才姉)
・長澤綾子さん



皆さん、市議会だより読んでいたでいてあります。私共も議会広報広聴委員会に入ってしまった。どうせ外注に任せたりだろ。とお考えの皆さん、こんでもございませう。印刷以外のほぼ全てが手作りです。やれ原稿、やれ校正など、時間も手間もかかり、私には「最悪(?)」と言えらる委員会ですが、無論、委員をお受けした以上は精一杯頑張っております。そんな折、イベント会場にて「突ゲキ生レポート」インタビュー。若い女性を狙って「読んでください。ありますか?」の私の問いかけに、「知りません」との一撃でダウンをくらいました。どうにか立ち上がり、2人目へ。この方のまた冷たい応答に、2度目のダウン。さりとてここで負けられない男小松は、3人目にチャレンジ。知人に助けられ無事取材終了するも、あわやノックアウト寸前でした。これにめげず、皆様の生の声をいただきに再びまちへ出掛けていきます。運良くインタビューでお会いした際には、どうか優しく接してください。皆様に読んでいただけるような市議会だよりを目指し、頑張っております。ご意見、ご要望お待ちしております。(小松 壮)

議会広報広聴委員会

- 委員長 藤森 博文
- 委員長 田村 みどり
- 委員長 吉田 浩
- 委員 義信 早出 すみ子
- 委員 康善 小松 壮

